

もっと笑顔で、暮らせる明日へ

aito

5

May 2023

No.338



目で見て 脳で考え 腕で投げる

櫛引支所管内 板井川老人クラブ

「千歳会」佐藤 正男さん（76）

同じ地区の先輩から誘われたことがきっかけで輪投げを始めました。各地区の老人クラブで盛んに行われており、大会もあります。競技ルールは、1～9の数字が書かれた棒に9本の輪を投げ、何本の輪が入ったかを競います。2月に行われた鶴岡市老人クラブ連合会櫛引支部公式ワナゲ大会では19チーム中2位になることができました。

輪投げの魅力は「集中力」を高めることができるところです。棒までの距離や自身の輪を投げる力加減、コース選定など一投一投考え方集中しなければ棒に入ることはできません。力加減や投げるコースを誤るとたとえ棒に輪が入ったとしても弾かれてしまうこともあります。これらを即座に判断し輪を投げることで、集中力や状況の判断力が養われます。

私の目標は、全ての棒に輪を入れる「パーフェクト」を出すことです。この目標を達成するため、集中力と判断力を意識して練習に励んでいきたいです。

元気に仲良くのびのび育ってね！

藤島支所管内 井上 蒼羽くん(5)・紅羽ちゃん(2)・橙羽くん(0)

お世話好きの蒼羽くんはちょっぴり恥ずかしがりやですが妹、弟の面倒をよく見てくれるお兄ちゃん。ポケモンにハマっています♪

紅羽ちゃんはチャレンジ精神旺盛で何でも一番乗りに挑戦します。お肉が好きなワイルドな一面も。家族のアイドル的存在の橙羽くん。お世話してくれるお兄ちゃんお姉ちゃんが大好きです。

あいと
キッズ

ファミリーファーム

FAMILY FARM

目標に向かい勉強と挑戦を続けていく

家業である農業に幼い頃から触れ、水稻栽培の手伝いなどを行ってきた私は、父から引き継ぐ形で本格的に就農し、現在で5年目になります。まだ経験が浅い部分があり、気象変動や生育の変化へ臨機応変に対応することが難しいですが、父や地域の先輩農家のの方々、同じ農家の同級生と情報交換をして日々学びを深めています。

水稻は、11haを家族と協力して栽培しており、初期生育確保の徹底や土壤還元を防ぐための土づくりに努めています。田植えでは計画通りに移植できるよう特に気を使って行っています。収穫期に収量が多かった時や食味コンテストに挑戦し良い結果を残せた時などやりがいを感じますし、家族からの「おいしい」という声がとても嬉しいです。

今後は、6次産業化を目指し、自分で作った作物を加工品にするなどして将来的に出店することが夢です。



SHONOSETRY

新たな農業の形に挑戦する

食料生産科3年 五十嵐 真都さん



私の家は農家で小さい頃から祖父や父と一緒にトラクターや田植え機、コンバインと1年を通して一緒に乗るのが当たり前でした。おかげで今では一連の操作ができるようになり、手伝いの幅も増えました。私の家では稻作7ha、大豆3haなどを栽培しています。田んぼの面積は地域の農業従事者の高齢化が進み年々受託が増えてきているのが現状です。「まなと、うちの田んぼもたのむのー」と言われると、嬉しい反面、寂しくもあります。そこで、将来はスマート農業技術を実践し、従来のやり方にとらわれず新たな農業の形に挑戦して今の日本の農業の課題を解決していきたいです。





立茎期間中は、倒伏防止のためフラワーネットやアーチパイプなどの支柱を設置し茎を誘引。6月に株を定植した場合、1年間養成し2年目の春から収穫できる。

安定出荷と高品質生産を目指して

JAでは、高品質生産に向け栽培講習会や目揃え会を実施しています。夏から秋まで収穫できる「長期立茎栽培」では講習に力を入れており、ハウスの長期立茎栽培は、安定した室温と少ない防除回数で済むことがオススメポイント。春採り後に収穫をストップし立茎作業に入るため、田植え時期と重ならず、稲作との複合農業経営が可能となります。

アスパラガス部会では、地元市場や関東市場に高品質なアスパラガスを出荷できるよう、奇形茎や細い茎は早めに取り除き養分の消耗を防ぐことで次の出芽を促す他、灌水管理を徹底することで草勢維持に努めています。今年産は、強風による曲がりが見受けられたものの部会員の適切な栽培管理により生育は良好。3月の気候が比較的温暖であったため例年より早い4月20日から出荷を行っています。10tあたりの収量300kgを目標に出荷を続けていきます。

栽培フローチャート（定植4年目以降）

作型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
露地			■	■	立	立	■	■	■
ハウス	■	■	■	立	立	立	■	■	■

■：収穫 立：立茎 剪：刈り取り

簡単！おうちで作れるアスパラレシピ

アスパラと小エビのガーリック炒め

用意するもの

- ・アスパラガス 4本
- ・乾燥小エビ 15g程度
- ・にんにく 適量
- ・鷹の爪(輪切り) 適量
- ・オリーブオイル
- ・黒コショウ (粗びき)
- ・塩

- アスパラは下半分の皮をむき、4~5cmの長さに切る。
- フライパンにオリーブオイル大さじ1とにんにくを入れ、香りが立ってきたら鷹の爪、小エビ、アスパラを入れ炒める。
- アスパラに火が通ったら好みで塩・黒コショウを加え味を調える。
- 盛り付けて完成！おつまみにもピッタリ！

旬のアスパラを味わう！

アスパラガス
5月~6月が旬の春野菜。
JA庄内たがわ管内では春採りの
露地・ハウス栽培、夏~秋採りの長期
立茎栽培などを行っており、アスパラガス
部会員37人が栽培しています。
市場から引き合いの強い品目の一つで
注目の野菜です！



菊・高品質、安定生産に向けて栽培管理学ぶ

花き部会菊・スプレー菊専門部は4月28日、本所で栽培講習会を開いた。部員約10人が参加し、今年産の高品質生産に向けた栽培管理のポイントを学んだ。この日は、農薬メーカーの担当者と県庄内総合支庁農業技術普及課の指導員が講師を務め、栽培時の留意点を説明。適正に調合した農薬を均一に散布することが重要とアドバイスした他、これから高温になる予報で、虫が急に発生する可能性があるため、定期的な予防除草やハウス周りの除草を徹底し、ハウス内の換気を行うよう呼び掛けた。講習会では、日頃の栽培に関する質問が多く挙げられ、高品質生産に向けて学びを深めた。



パプリカ・種苗センターで苗づくりを見学

三川町パプリカ生産者協議会は4月13日、庄内町にある野菜の苗栽培を担う種苗センターを見学し、参加した同協議会員約10人がパプリカ苗の生育状況を確認した。同センターは、今年度に三川町の種苗センターから業務を移管。日当たりの良さやベンチを使用できることから良好な環境での栽培が可能であり、播種からの栽培を受託し定植時に生産者へ出荷している。同センターの担当者によると、今年産は降雪が少なく温暖な日が続いたことから前進傾向で推移し、目立った病虫害被害もなく生育は良好だ。今後は、引き続き温度管理や水管理に注意し、出荷に合わせ生育を揃えることに努めていく。



ブルーベリー・相互理解を深め品質差を解消

ブルーベリー部会は4月27日、羽黒支所分析センターで定期総会を開いた。部員約20人が参加し、前年度の事業報告や収支予算案などを含む全3議案を可決した。前年度は、4月上旬に一部圃場で低温による生育障害が発生したが、その後の気候は比較的安定していたため品質は良好であり取引市場からの引き合いも強かった。今年度は、期間防除の徹底と適期収穫により高品質生産を目指す他、品質差を解消するため荷受け検品体制の強化や生産者と市場担当者・量販店・消費者間で交流し相互理解を深めていくこととした。また、加工用集荷数量の増加に対応した取引先の新規拡大を狙っていく。



赤カブ・初期防除を徹底し高品質生産を目指す

赤かぶ部会は4月4日、羽黒支所分析センターで通常総会を開いた。参加した部員約20人は、前年産の生育・販売経過と今年産の事業計画を確認した。前年産の春カブの生育は、温暖に推移した気候と収穫時期に気象災害がなかったことから収穫が順調に進み、販売計画20tに対し23tを集荷。秋カブは、8月の降雨で発芽や初期生育の抑制が見受けられたが、9月上旬以降の温暖な気候により回復し豊作基調となり、170tの販売計画に対し約230tの集荷を記録した。今年産は、排水対策・初期防除などを徹底し、過乾燥や大雨による被害の回避、収穫時の労力分散のため段播きを実施していく。



月山ワイン・フェミナリーズ世界ワインコンで金賞

ワインの本場フランスのボーグで4月3~4日に開かれた「第17回フェミナリーズ世界ワインコンクール」で、月山ワイン山ぶどう研究所の微発泡ワイン「ソレイユ・ルパン ピアンコフリッサンテ2017」㊂が金賞、「ソレイユ・ルパン シャルドネアンウッド2020」㊂が銀賞を受賞した。計4度目の金賞受賞で、月山ワインの品質の高さを世界に示した。

「ピアンコフリッサンテ」は、鶴岡市櫛引地区で棚栽培した良質の「甲州ブドウ」を100%使用した、引き締まった酸味と甘みのあるワインでガス充填を行い微発泡に仕上げた。「シャルドネアンウッド」は、庄内地域の「シャルドネ」を100%使用した白ワイン。青リンゴと洋梨のフレッシュでフルーティな香りと蜜のような甘い香りが感じられ、冷涼感の酸味と凝縮感の果実味が魅力だ。月山ワイン山ぶどう研究所の成澤健所長は「世界の場で賞を頂き、大変嬉しく思う。月山ワインを国内外で知ってもらうきっかけになってほしい」と話した。

受賞ワインのお買い求めは、月山ワイン山ぶどう研究所（TEL：0235-53-2789）まで。



キュウリ・気温上昇時の対策を徹底

櫛引地域の下山添野菜出荷組合は4月19日、同地域でキュウリの圃場巡回を行った。下山添野菜出荷組合の組合員約10人と種苗メーカー担当者、園芸特産指導員が圃場11カ所を巡回し、生育状況や今後の栽培管理などを入念に確認した。生育状況は、病害虫被害がなく葉色も良好で順調に推移。同行した種苗メーカー担当者は「外気温が23~24°Cに上るとハウス内もすぐに気温上昇するため、カーテンを開けるなど高温対策を行う他、乾燥させないよう灌水を実施すること」とアドバイスした。今年産の出荷は4月3日から行っており、販売量約250tを目標に地場や関東市場へ出荷していく。



サクランボ・丁寧な人工受粉で結実確保を

さくらんぼ部会は4月12~13日の2日間、羽黒・櫛引地域でサクランボの結実対策講習会を開いた。部員合計約30人が参加し、今年産の高品質生産と収量確保に向けた栽培管理のポイントを学んだ。今年産は、「紅秀峰」が平年より9日早く開花し、「佐藤錦」は平年より約7日早く開花。講師を務めた県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者は、人工受粉は毛バタキを使用し枝に沿って優しく撫でるように行う他、低温で訪花昆虫の活動が悪い場合は必ず人工受粉を実施することを呼び掛けた。今後は圃場内の開花差に留意しながら受粉樹の花粉を確保し、晴れ間を見て満開時の防除を徹底していく。



プロジェクトチームがサポートします!

営農指導員が構成メンバーとなるプロジェクトチームを編成し、生産地力向上、生産現場での課題解決に向けた取組を行います。

- ① 生産コスト削減に向けた肥料・農薬並びに技術等の調査検討（生産戦略）
- ② ICTを活用したスマート農業の実証・検討（生産戦略）
- ③ たがわ農直米ブランド化「たがわコメプラン」の検討（生産戦略・販売戦略）

現在、「米づくり情報」にて生産費の低減、品質向上、安定収量の確保など、農家技術の向上と生産意欲の拡大に向けて基本技術の励行や比較的取組み易い技術等の紹介を行っております。「米づくり情報」はLINE公式アカウントからも配信しており、是非、お友達登録をお願い致します。

羽黒支所 営農課営農係 板垣 綾斗さん

主な 重点課題

- ・新技術調査、コスト低減技術の情報収集
- ・「スマートつや姫」についての山形県と連携した実証、普及
- ・安全安心な農産物生産に向けたリスク回避のためのチェックリストの作成



～「米づくり情報」友だち募集～

LINE公式アカウントを開設しております。右のQRコードを読み取り、友達登録をお願い致します。



信用Q&A



Q

老後資金ならiDeCoがお得と聞きました。メリットを教えてください。

A iDeCo（イデコ）とは「個人型確定拠出年金」と言い、老後資金を自分で作るための税制優遇を味方につけた制度です。65歳までの間に毎月一定の掛金を積み立てて運用し、60歳以降（一定の条件あり）に運用した資金を受け取ります。

積み立てた掛け金の全額が所得控除され、所得税・住民税が軽くなりますので年末調整や確定申告を行うことで所得や掛け金に応じた節税効果が期待できます。

JAバンクでは令和5年4月より、ご来店不要のiDeCoオンライン申込サービスを開始しております。詳しくは、お近くの営業窓口にお問い合わせ下さい。

補助教材寄贈し農業への学び深める

信用部は4月11日、三川町の教育委員会にJAバンク発行の小学校高学年用の食農教育補助教材『農業とわたしたちのくらし』を寄贈した。JA管内では、17小学校へ600部が贈られた。補助教材は、農業の多面的機能や食の流通の仕組みなどをまとめ、小学5年生を対象に児童が食や環境への理解を深めるきっかけとなることを目的に社会科の授業で活用。三川町教育委員会には、JAの佐藤茂春常務と信用部長、農林中央金庫の担当者が訪れ、斎藤正志教育長に補助教材本を手渡した。斎藤教育長は「学習展開例が掲載されているため教員たちも授業に生かしやすい。ありがたく活用したい」と話した。



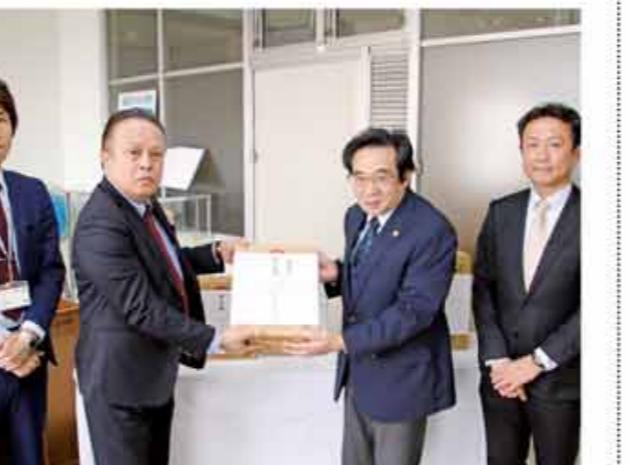
米作りスタート!健苗育成と初期生育に努める

藤島支所営農課は4月20~26日、藤島地域で水稻の育苗巡回を行った。巡回した同地域の各集落では、生産者らと生育状況や出芽揃い、葉数展開などを確認。日ごと、天気や気温の変化が大きかった為、苗の生育への影響が懸念されていたが、遮光資材や換気などの適切な温度管理により生育は順調に推移している。同支所の米穀指導員は、苗の高さに必ず温度計を設置し、生育ステージに合わせながら高温・低温対策を行い健苗育成に努めてほしいという。同JAでは、引き続き肥培管理や移植後の水管理など基本技術の指導と初期生育確保に向けて情報発信を進めていく。



共済事業の目標必達へ向け一致団結

J Aは4月6日、本所で今年度共済事業目標必達大会を開いた。参加したJA役職員やJA共済連山形の関係者、ライフアドバイザー（LA）ら合計約60人は、羽黒地域の出羽三山神社で御祈祷後、同大会で一致団結した。今年度は、組合員・利用者一人一人に寄り添った最良の安心と満足の提供をするため、生命保障を中心とした万全な総合保障の提供と農業分野保障を強化し、持続可能なJA経営基盤の確立・強化などを目指していく。太田政士組合長は「目標達成のため、職員同士力を合わせて取り組んでほしい」と激励。推進総合目標1507万ポイント達成に向け参加者全員で頑張ろう三唱を行った。



うすい なな
碓氷 那奈さん(23) 羽黒支所管内

生まれ育った地元で働いています。
動物園や水族館が好きで休日はドライブして動物を見に行っています。
全国の動物園と水族館を巡ることが目標です。

「心の声」

あなたが行ってみたい国や地域は？

写真が趣味なので、ニュージーランドの雄大な自然を撮ってみたいです！ A・Aさん【鶴岡市】

スペインに行ってみたい。コロナも落ち着き海外旅行に行きたい。思い切って遠いヨーロッパに。 N・Sさん【鶴岡市】

「行ってみたいなあ～」と思ったら国内ですが、仕事の合間に計画を立て主に鉄旅で、あちこち独りであったり夫婦や友人と旅をしてきました。今は、福島～新潟を走る「秘境路線」磐越西線・只見線の名所を訪ねたいです。もう1つ欲張れば、元気なうちに最北端・宗谷岬に鉄旅で行ってみたいなあ～ E・Hさん【新余目】

私が行ってみたい国は、ラグビーワールド杯が行われる「フランス」です。前回ベスト8に進出した日本代表の活躍をフランスのスタジアムで観覧したいです。 K・Yさん【朝日】

人生75年生きて心残りが2つあります。富士山に登っておけばよかったと伊勢神宮参拝です。これは密かに体力作りして狙っています。 S・Mさん【新潟県】

オーストリアです。クラシック音楽が好きなので、首都ウィーンで思いっきり演奏を視聴したいです。 M・Tさん【新潟県】



庄内たがわ aito May 2023
No.338

発行／庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611 山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1

TEL.0235-64-3000 電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp

印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



ホームページ

Twitter

Instagram